

東北、北陸、中国、四国、九州地方の開発促進計画の概要

地 方	東 北	北 陸	中 国	四 国	九 州
根 拠 法	東北開発促進法（S32.5.17）	北陸地方開発促進法（S35.12.27）	中国地方開発促進法（S35.12.27）	四国地方開発促進法（S35.4.28）	九州地方開発促進法（S34.3.30）
過去の計画の推移	昭和33年 8月15日（第1次） 昭和39年 2月25日（第2次） 昭和54年 3月20日（第3次） 平成元年 3月22日（第4次）	昭和39年 2月25日（第1次） 昭和54年 3月20日（第2次） 平成2年 5月29日（第3次）	昭和39年 2月25日（第1次） 昭和54年 3月20日（第2次） 平成2年 5月29日（第3次）	昭和35年10月21日（第1次） 昭和40年 2月26日（第2次） 昭和54年 3月20日（第3次） 平成2年 5月29日（第4次）	昭和34年11月27日（第1次） 昭和39年 2月25日（第2次） 昭和54年 3月20日（第3次） 平成2年 5月29日（第4次）
策定期間	平成11年3月	平成11年3月	平成11年3月	平成11年3月	平成11年3月
目標年次	概ね平成22～27年（2010～2015年）	概ね平成22～27年（2010～2015年）	概ね平成22～27年（2010～2015年）	概ね平成22～27年（2010～2015年）	概ね平成22～27年（2010～2015年）
対象地域	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県	富山県、石川県、福井県	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
副 題	21世紀を先導する 自然共存型社会をめざして	日本海国土軸の形成 を先導する北陸	多軸・分散型発展を先導する中国	本四3架橋時代の新四国創造	アジアと一体化して発展する 個性ある九州
基本理念等	21世紀の日本における多軸型国土構造の形成を先導する自然共存型社会のフロンティアとして東北を整備し、 「多彩なライフスタイルの展開が可能で、暮らしやすく活力のある東北」の形成を基本目標とする。 ・北東国土軸及び日本海国土軸の形成を長期的に展望しつつ、都市機能や産業の集積、南北及び東西方向に展開する高速交通体系から構成されるラダー（梯子）型地域構造の形成を進める。	コンパクトな地域の中に都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な北陸 活力があり、また環日本海交流を先導する世界に開かれた北陸 を目指す ・北陸の個性とポテンシャルを發揮し、多様な連携・交流を展開することによって、日本海国土軸の形成を先導する圏域として、多軸型国土構造の形成に寄与する役割を担う	魅力ある大小様々な都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な中国 活力があり、また世界に開かれ、貢献・交流する中国 を目指す ・中国の個性とポテンシャルを發揮し、多様な地域が連携・交流する多軸・分散ネットワーク型発展により、多軸型国土構造の形成を先導し、長期的に、日本海国土軸、西日本国土軸の形成の一翼を担う	都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な四国 活力があり、またアジア・太平洋地域を始め世界に開かれた四国 を目指す ・本四3架橋時代の到来と四国の個性とポテンシャルを生かし、域内外にわたる連携・交流を通じ、四国の自立を促進するとともに、歴史・風土に根ざした多様性に富んだ美しい庭園の島、四国を形成し、太平洋新国土軸の基礎を構築	相当規模の都市と自然が共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受でき、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な九州 活力があり、またアジアと一体化して発展する九州 を目指す ・九州の強い個性とポテンシャルを發揮し、多様な地域が連携・交流することを通じて、長期的に、九州を覆う太平洋新国土軸や日本海国土軸、西日本国土軸の西の結節点となり、自然、歴史、文化、技術が融合する美しいガーデンアイラン
基本方針・重点課題	1)ゆとりある暮らしの中で、自然の恵み、都市的サービスを楽しむ東北 2)世界と人々やもの、情報、文化が交流する開かれた東北 3)魅力ある職場が存在し、産業に活力のある東北 を実現	1)都市の連なりと3大都市圏への近接性を生かし、連携・交流する北陸を創造 2)優れた住環境の下で、自然に恵まれ文化の香り高い生活圏を創造 3)小さな世界企業等個性的な北陸産業の形成を促進 4)環日本海交流を先導し、新たな国際交流を展開する北陸を実現	1)都市の分散型分布を生かし、域外にも開かれ、連携・交流する中国を創造 2)多様な主体の参加と連携により、多自然居住地域の創造を先導 3)産業技術集積を生かし、創造的な産業社会への転換を促進 4)世界に貢献し、交流する中国を実現	1)本四3架橋時代の到来を生かし、域内外にわたって広域的に連携・交流する四国を創造 2)自然、歴史・文化と共に、高齢者も安心して暮らしが味わえる生活圏を創造 3)特色ある創造的な企業群の形成による産業構造の高度化を促進 4)アジア・太平洋地域と交流する四国を実現	1)相当規模の都市と豊かな自然が織りなす多様な地域が連携・交流する九州を創造 2)自然と共に安全で安心して暮らせ、誇りが持てる生活圏を創造 3)知識集約化に向けて産業の高度化を促進 4)歴史的・文化的繋がりがも生かし、アジアとの一体的発展に向けた国際交流を先導する九州を実現